

協同の「絆」で東日本大震災被災地支援活動を展開

◆ ＪＡえひめ南 姉妹提携を結ぶ ＪＡいわて中央(岩手県)・ ＪＡ栗っ子(宮城県)を訪問

ＪＡいわて中央(岩手県)とＪＡ栗っ子(宮城県)と姉妹提携を結ぶ
ＪＡえひめ南は２０１１年３月２５・２６日、被災した現地を訪問
しました。清家治常務と吉見一弥総務部長(当時)は、長期的な復興支
援を検討するため被災地に入り、甚大な被害を受けた農地とＪＡ施設
を確認すると同時に、２ＪＡ役職員と固い握手を交わしました。



被害を受けた現地と震災に負けず地域のために活動するＪＡ職員



右からＪＡいわて中央藤尾組合長、
清家常務(ＪＡえひめ南)、米倉常務(ＪＡいわて中央)

◆ ＪＡにしうわ 福島産桃を購入、“愛”あるみかんジュースも被災地へ送る

ＪＡにしうわは、管内の八幡浜市や伊方町に協力を呼びかけ、福島産桃の購入運動に取り組み、２０１１年８月２
５日までに合計１６６０ケースを購入しました。安全・安心な国産果実を消費者に届けるために、震災後も懸命に農
作業に取り組む被災地域の農家を支援する活動には、愛媛県庁やＪＡ共済連、(株)えひめ物流などの関係機関も協力し
ました。同月２７・２８日には、ＪＡにしうわから被災地域のＪＡに向けて、みかんジュース６４ｃ/sを送りました。

また、ＪＡおちいまばりからも被災地地域ＪＡに向けてみかんジュース２１０ｃ/sを送りました。



みかんジュースに早期復興の想いを寄せるＪＡ職員

早朝から届いた福島産の桃を仕分けするＪＡ職員